

刊行物案内

林彪春秋

姫田光義 著



世が世なら毛沢東の次に中国最高指導者の地位につけるはずだった男、林彪。毛沢東を殺そうとして失敗、飛行機で逃亡中にモンゴル平原に墜落死。林彪事件といわれる中国政治史上最大の事件は今なお謎に包まれたままになっている。資料公開が十分でない現在、林彪の栄光の道から没落への道という個人の生き様と、人治主義という中国政府の特質とを密接に絡ませて解き明かす。

中央大学出版部
2009年発行
定価 4,830円 (税込)

著者：姫田光義 (中央大学名誉教授)

日本百名塔

須磨一彦 著



国指定の国宝や重要文化財としての五重・三重・多宝・宝の各木塔は130基ほどあり、このうち撮影禁止の4基を除く126基を撮影。落慶年、様式、特徴などの基礎知識を簡潔に付記し、仏教史、仏塔史、構造図も一般読者向けのレベルで解説した写真集。1枚目を撮影してから今日まで25年が経過しており、その間には境内の様態替えや解体修理もあったが、できる限り現況の写真を掲載した。

中央大学出版部
2009年発行
定価 3,570円 (税込)

著者：須磨一彦 (中央大学名誉教授)

中央大学百年史 (全4巻)

中央大学百年史編集委員会専門委員会編



中央大学の現在と過去との対話。大学の理念と伝統はいかにして築かれたか。幾多の先達の不撓不屈の精神と努力の後をたどる中央大学百年の歩み。明日へのさらなる飛躍のための「中大人」必読の書。

中央大学出版部
2001 - 2005年発行

定価 (税込)
通史編上巻 4,200円 通史編下巻 6,300円
年表・索引編 9,450円 資料編 13,650円

住宅税制論

篠原正博 著



地価下落により不動産の資産としての有利性が低下しても、日本人は強い持ち家願望をいまだに持っている。アメリカの政治家ベンジャミン・フランクリンは「この世で確実なものは、死と税金である」という言葉を残したが、持ち家は世界各国で課税の標的となっている。本書ではこのような持ち家に対するわが国の「住宅税制」の実体を、国際比較の視点を交えて明らかにし、そのあり方を体系的かつ実証的に論ずる。

中央大学出版部
2009年発行
定価 5,775円 (税込)

著者：篠原正博 (中央大学経済学部教授)

さまよう経済と社会 —「時代の叫び」162冊

中村達也 著



サブプライム金融危機、グローバル化、市場原理主義、少子高齢化、格差社会、非正規雇用、派遣労働、ワーキングプア、セーフティネット、そしてワーク・ライフ・バランス。世紀の転換点をはさむこの10年間、経済と社会が大きくなうねりの中で、まるで「時代の叫び」にも似た声を上げた。そうしたうねりに切り込んだ、経済と社会をめぐる代表著作162冊を論評した書評集。

中央大学出版部
2009年発行
定価 3,675円 (税込)

著者：中村達也 (中央大学商学部教授)

環境政治とガバナンス

星野 智 著



環境政治という政治学の新しい分野から、環境の歴史、環境運動、環境政策、環境ガバナンスという諸問題に光を当てる。地球温暖化などの地球環境問題についてはグローバル環境ガバナンスという枠組みの中で取り組みがなされているが、同時にEU、東アジア、北米などリージョナル環境ガバナンスの問題も視野に入れる。

中央大学出版部
2009年発行
定価 2,835円 (税込)

著者：星野 智 (中央大学法学部教授)

経営革新 Vol.1 ~ 5

鈴木敏文・林 昇一 監修



グローバルな時代を勝ち抜く経営とは。デフレ経済からの脱出ノウハウや連続する企業不祥事からの脱出ノウハウ、持続的成長経営のノウハウを一流企業のトップが熱く語る。ビジネスマン、ビジネスを志す人々の参考書として必読の書といえる。

中央大学出版部
2005 - 2009年発行
定価 2,520円 (税込)

執筆者：林 昇一 (中央大学総合政策学部教授)ほか

学生のための人生羅針盤

—どう学び、どう働くのか— 中央大学総合政策学部編



新しいコンセプトをもつ「総合政策学部」に入って学び、さまざまな仕事について卒業生たち。彼らの模索の軌跡と実績を、現在学んでいる学部生たちが取材し記録。先輩たちは大学でどう学び、どう悩み、どう自分の生きる道を切り開いていったのか。総合政策学部という真っ白なキャンパスに何を描こうとしたのか、そして社会人になって、総合政策学部はどう見えているのか。卒業生たちが語った様々な思いを、取材した学部生たちの驚きと感動も含めてまとめた一冊。

大巧社
2009年発行
定価 1,785円 (税込)